付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（滋賀大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

【全学としての対応】

- ・滋賀大学では学長をトップとする新型コロナウイルス感染症対策会議で毎学期の授業実施方針を決定し、「新型コロナウイルス感染症に対応した授業実施の留意事項」を学部・研究科に通知することで、全学的な教学マネジメント体制に基づいて学生の学習の質を維持する取組を遂行してきた。
- ・令和2年度春学期の授業実施に際しては、事前に学生のインターネット環境等の調査を行い、ワンストップ型の学生サポート窓口を設置したうえで、学内外の様々なツールを積極的に活用し、リアルタイム型授業とオンデマンド型授業を柔軟に組み合わせてオンライン授業を実施した。秋学期は対面授業の割合を高めるとともに、オンライン授業の併用・組み合わせによるハイブリッド授業を充実させた。
- ・全学的な対応として、Moodleをベースとした基幹的なLMSであるSULMSのサーバ増強、彦根・大津キャンパス間の遠隔講義用を含む複数台のネットワーク機能を有する電子黒板やWebカメラ等の整備、教職員・学生が無料で利用できるようにしている基盤的オンラインツールのMS-Office365（MS-Teams等）のマニュアル整備を行った。文部科学省からの通知内容や著作権法上の注意点を教員に周知した。学生アンケートを実施し、学生のオンライン授業への満足度を把握するとともに、学生からの意見や要望を授業改善に反映させた。また、コロナ禍以前とGPAや単位修得率を比較し、学修成果を把握することで質保証に取り組んだ。
- ・令和3年度は感染拡大防止措置をとったうえで原則として対面授業（オンライン授業との組み合わせや併用を含む）という方針を採用している。

【学部・研究科での対応】

- ・全学的な方針に基づき学部・研究科がそれぞれの特性に応じて学期ごとに授業実施方針を定め、学生及び教員に周知している。具体的には、科目ごとの授業形態、1回生への配慮、シラバスの修正方法、対面授業を行う際の感染拡大防止措置、オンラインによる定期試験実施の留意点等を定めている。また、各科目の授業形態を調査し、学生に配布する時間割に授業形態を分かりやすく記載するなどの工夫を行っている。
- ・受講者数が教室の収容定員の50%以内に収まらない大人数授業では、オンデマンド授業を基本としながらグループ分けをした実習を対面で実施するなど授業特性に応じた工夫を行っている。
- ・毎学期授業評価アンケートを実施するとともに、学生との意見交換の場で授業実施に関する意見・要望を聴取し、学生の要望に応えられるように改善に努めている。

【FDの取り組み】

- ・オンライン授業／ハイブリッド授業の実施に関する各学部の特徴的な取組を共有し、好事例を全学的に普及させるために令和2年度に「滋賀大学教育改革フォーラム」を開催した。また、教育実践優秀賞のテーマに「チャレンジングで先進的な授業改革の試み」を設定してコロナ禍での優れた教育実践を顕彰し、受賞者によるFD研修やFD情報誌「su-L」を通して全学的に周知した。
- ・学部・研究科においても、ハイブリッド授業の実施に関するFD研修を実施したり、MS-TeamsやSULMSを利用した情報交換の場を設けるなど授業改善に向けた取組を行っている。SULMSは利用方法に関する講習会を複数回実施した結果、大半の教員が利用し、学生の学習状況をきめ細かく把握するための小テストや課題提出、オンデマンド授業の質問受付、チャットによる対話等に積極的に活用され、教育の質の維持に役立っている。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

【学生の学習の支援】

- ・オンライン授業を受講するためのパソコンを保有していない学生に対してパソコンの貸し出しを行った。ネットワーク環境が不十分な学生に対して空き教室でオンライン授業を受講できるようにした。また、自学自習のための教材として、英語e-Learningシステム「Academic Express3」やデータサイエンス学部が作成したMOOC教材を全学生に提供した。
- ・附属図書館では、郵送による図書の貸し出しサービスを提供するとともに、SSL-VPN装置の同時接続可能数を増強することにより、学外から学内限定のサービス（図書館の電子ジャーナル、データベース等）を利用できる環境を充実させた。

【学生相談窓口の設置】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で生活面や修学面等について、心配なこと、困っていることがあればいつでも相談できるよう、特に新生が大学での学習にスムーズに入っていけるよう、メールや電話で学生相談を受け付けるワンストップ型の学生相談総合窓口を整備した。
- ・国及び自治体が設置する新型コロナウイルス感染症に伴うメンタルヘルスケアの相談窓口を周知した。

【学生への経済的支援】

- ・滋賀大学学生特別支援政策パッケージ「つづけるくん」で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け家計急変した学生への授業料免除を実施するとともに貸付金制度を用意した。
- ・滋賀大学基金「滋賀大学修学支援事業基金」及び日本学生支援機構の「新型コロナウイルス感染症対策助成金」を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済的な困難を理由として修学を断念することのないよう給付型奨学金を支給した。
- ・令和2年度補正予算による新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け家計急変した学生への授業料免除を実施した。
- ・国による「学びの継続」のための学生支援緊急給付金の推薦事務や、日本学生支援機構が行う新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変した学生に対する給付奨学金制度の周知及び申請事務を行った。

また、以下のように、経済的に困難な場合に活用できる制度の周知を行った。

- ・生活福祉資金貸付金（緊急小口資金の特別貸付）
- ・国民年金保険料の猶予にかかる臨時特例
- ・新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金

【学外と連携した支援物資提供等の周知及び配布】

以下のように、学外と連携した支援物資提供等の周知及び配布を行った。

- ・滋賀県及び後援会から近江米（2kg）や食料品の提供
- ・彦根市から近江米（5kg）の提供